

授業科目名	動物行動学Ⅰ		科目コード	263007	
開講クラス	動物健康管理学科	コース	動物園・水族館・ドッグインストラクターコース	学 年	1 年
担当教員	出口智久				
	実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) 実務経験内容 宮崎市フェニックス自然動物園元園長				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	30 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト1	書 名	愛玩動物看護師の教科書 第2巻			
	著 者	緑書房編集部 編			
	出版社	株式会社 緑書房			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習				
<p><授業の目的・目標> 犬や猫の種としての行動様式を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。</p>					
<p><授業の概要・授業方針> 主に犬と猫について扱う。犬や猫が長い歴史の中で人間とどの様に関わってきたか、一生をどの様に過ごし成長していくのか、他個体とどの様にコミュニケーションを取り、どの様な時にどの様な行動を取るのか等を学ぶ。また、講義で学んだ内容を、映像を見たり犬や猫を実際に観察したりすることで確認する。</p>					
<p><成績基準・評価基準> 前期と後期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が 80~100点を優、70~79点を良、60~69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、追試においては60~100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。</p>					
<p><使用問題集・注意事項></p>					

授業科目名		動物行動学 I	
回	授業内容		備考
1	動物の行動とは：(動物と植物の違い)		
2	動物の行動の研究について		
3	動物行動のレパートリー (キリンの具体例)		
4	動物行動のレパートリー (レパートリーの洗い出し：移動)		
5	愛玩動物看護師の教科書第2巻 動物の行動学 はじめに①		
6	同 はじめに②		
7	同 動物行動学の4つの問い		
8	同 行動の進化と適応、家畜化		
9	同 家畜化 生得的行動と習得的行動		
10	同 脳による行動抑制		
11	同 復習		
12	同 個体維持行動 基本的な行動の分類		
13	同 摂食行動と飲水行動		
14	同 排泄行動		
15	同 身づくろい行動 護身行動		
16	前期まとめ		
17	愛玩動物看護師の教科書第2巻 動物の行動学 発達過程と社会行動 発達ステージ①		
18	同 生殖行動		
19	同 コミュニケーション行動		
20	同 学習理論①		
21	同 学習理論②		
22	同 問題行動		
23	同 行動治療		
24	同 イヌ及びネコの行動学の復習		
25	動物園動物の行動学予備知識 自然な行動と自然では見られない行動		
26	同 正常な行動と異常行動		
27	アニマルウェルフェアの概略説明		
28	ストレス (良いストレスと苦痛)		
29	促進すべき行動とは何か (エンリッチメント)		
30	後期まとめ		